

ベントグリーンの夏越しをテーマに KGAグリーン研究講習会開かれる



会場は満席。2氏の講演に聞き入っていた



平山誠—KGAグリーン委員長
「昨年の夏はご苦労されたと思います。是非、この講習会の内容を参考にいただき、今年の管理に生かしていただければと思います」



柳氏は、昨年の日米での事例を出して、ベントグリーンの夏越しのヒントを



加藤重正 KGA 事務局長



武田氏は、現場の成功と失敗事例を紹介。ニューベントの事例に参加者は聞き入っていた

関東ゴルフ連盟（KGA）は、1月25日、東京のコートヤード・マリOTT銀座東武ホテルで、第60回グリーン研究講習会を開いた。今回のテーマは、昨年の猛暑を受けてベントグリーンの夏越し。

講演は、KGAグリーン委員会参加の柳久氏が「気候変動に対応したベントグリーンの管理」、平川カントリークラブの武田正人コース管理部長が「ベントグリーン夏越しの取り組み—成功と失敗の実例」の2題。

講演の後、講師2氏に千葉県コース管理者会の二宮純雄会長とコース設計者の大久保昌氏の2氏が参加して、講演内容に対する質疑応答とテーマの夏越しについてパネルディスカッションが持たれた。今回の講習会には予定した170人を上回る参加希望があった。

加藤重正事務局長は「昨年の夏は、どのゴルフ場でも大変ご苦労されたので、皆さん非常に強い関心を持たれていました。203人のご応募を頂きましたが、参加ができなかった皆様には大変申し訳なく思っています」と話していた。

さて、今年の夏の天候はどうなるのだろう。気になってきた。